



物語の始まり

「私、廉のことが好きなの」

ずっと好きだった琴乃からの
突然の告白

それなのに・・・

僕は彼女の気持ちを
今すぐに受け止められずにいた

春

2012年、春

僕の名前は廉

この春に大学に入学した

今一緒に入学式に向かっている隣にいるのは

高校からの大親友である孝介

そして孝介の彼女であり

僕の幼馴染でもある琴乃

3人は高校の時からいつも一緒

いつものメンツである

中学時代

僕の初恋は中学2年
相手はもちろん僕の幼馴染

2人は兄弟みたいに育てられてきた
お互い一人っ子
家は向かいどおし

小学生の頃なんか
よく一緒にお風呂に入ったし一緒に布団で寝た

あの頃全然意識していなかったのに・・・
急に女性っぽくなったもんだから

高校時代

思えば僕が恋のキューピットだった

高校2年の夏

同じ陸上部だった孝介に琴乃を紹介して欲しいと頼まれた

だから3人で地域の夏祭りに行ったんだ

琴乃も孝介に一目惚れだった

いつもは良く話すくせに2人とも全然話さない

それから僕の指定席は2人の間・・・

その年の冬に

2人は晴れて恋人となった

嬉しそうな琴乃の顔

今でも覚えてる

言えない気持ち

琴乃は僕を男として見ていない

誰よりも琴乃のことを知って
誰よりも一緒に時間を過ごしてるのに

言えない気持ちをずっとかかえてる

君は今日も笑顔で僕に話しかける
僕が君のことを考えてるなんか知らずに・・・

それなのに

しかし

意外にも僕は今の3人の関係に満足している
琴乃を孝介から取ろうという気になれない

それは多分

- ①孝介のことを親友とっていて関係を壊したくない
- ②琴乃を傷つけない
- ③結局自分なんか頑張った所で何もかわらない

そんな気持ちを持っているからだろう

でも正直3人での時間がとても楽しい

そう思い込んでるだけなのか？

そのことに気づかないふりをしてる僕

今の3人は

今3人は同じ大学に進学しているが生活はまるでばらばら

孝介は公認会計士の資格を取るため

資格学校に通い始め

琴乃は昔からずっとやってるフルートを

大学でも続けている

みんな忙しいみたい

全然3人で集まらない

そんな僕は何をやってるかって？

僕の予定、昼は授業・夜はバイト・・・

ある日のこと

大学1年生夏休みの直前のある日
高校のメンバーで飲み会が開催された。

久しぶりの再開
皆大人っぽくなったな

飲み会の話はとても盛り上がった

AKBオタクだった竜二にメイドの彼女が出来たり
目立たなかった美咲さんが別人のように美人になっていたり・・・

飲み会もそろそろ終わりに近づく頃
僕は琴乃からコンビニへ水買いに行こうと誘われた

久しぶりの2人の時間
いつも通りどきどきしてるけど
いつもとはなんか違う気持ちも入り混じってた

どうして？

コンビニでの帰り道

「ちょっと話したいことがある」

その時は突然だった

「私、廉のことが好き」

突然すぎて頭が真っ白になった

どうして？

孝介は？ 何言ってるの？

僕は返事をする事が出来なかった。

どうして？ 何言ってるの？

そればかりが頭の中で浮かんでは消えていた

その後・・・

数日経ち冷静になれた

僕は誰よりも琴乃のことを知っている
だから彼女の気持ちが本気であることを信じる事が出来た

自分は究極の判断を迫られることになった

友情と恋愛どちらをとるか

決断のために . . .

後悔しない決断をしよう

まず僕は絶対に譲れない軸を2つ定めた

- ①僕は琴乃のことが大好きであり、彼女と付き合いたい
- ②僕は孝介と親友のままでいたい

この軸をぶらすと、絶対に自分が後悔をする
絶対にぶらすまい

そして今回の状況では2つポイントがあると考え

- ①琴乃と付き合うか・付き合わないか
- ②孝介に事実を伝えるか・伝えないか

以上のポイントを整理すると

- ①琴乃と付き合い孝介にその事実を伝える
- ②琴乃と付き合い孝介にはその事実を伝えない
- ③琴乃と付き合いせず孝介にその事実を伝える
- ④琴乃と付き合いせず孝介にはその事実を伝えない

以上のパターンに分けることが出来ると考える

じゃあどうしようか . . .

決断の時

まず考えたいのは

②と④に共通する孝介に事実を伝えないという点

これは孝介にどんな場合にしろ嘘をつくということであり

嘘がばれるか否かというより

親友に嘘をつくという行為自体、孝介を傷つけるのではないかと自分は考える

ばれなきゃいいという次元のレベルではないだろう

僕は孝介を失いたくない

だから②と④は今回の決断からは外すことにする

次のポイントは琴乃を付き合うか否かということだ

自分の軸として琴乃と付き合いたいと考えているので

ここは①の琴乃と付き合う場合を選択しようと思う

それが後悔しない選択だ

本当にいいの？

これでOKなのか？

単純すぎないか？

本当にこの決断で軸の2つ目、孝介と親友のままでいるということが可能なのか・・・

琴乃との関係は上手く進むのか？

なんか心が晴れない

そうだまだ琴乃と孝介の関係がはっきりわかれた訳ではないからだ

ちゃんと考えなくちゃ

付き合うタイミングについては以下の2つのパターンが考えられる

①孝介と別れる前に琴乃と付き合う

②孝介と別れた後に琴乃と付き合う

①の場合

先程の決断より孝介に事実を伝えることになっているので

孝介は親友に彼女を取られたと感じるだろう

孝介と琴乃は順調でないとはいえ、まだ正式に話合って関係を整理していないので

僕と琴乃が付き合うという事実に納得してくれるかはわからない

琴乃も孝介に僕との関係がばれないように

注意しなければならない

これは琴乃にとっても大きな精神的不安だろう

僕も琴乃が苦しんだり、孝介と絶縁になるのは嫌だ

この場合3人全員がそれぞれ嫌な気持ちをする事となるんだ

これじゃあ自分の軸である孝介と親友でい続けることは困難であると同時に

僕と琴乃の関係が順調に進むかどうか不明である

うーん、どうしよう

やっと・・・

それでは②の場合

琴乃と孝介の関係は終わっているので
僕も琴乃も気兼ねなく関係を作ることが可能である

よし一件落着！

でも琴乃が孝介との関係を整理するのに一ヶ月も二ヶ月もかかるかもしれない
それは恋にとってはとっても長い期間だ

琴乃が別の男性のことを好きになったらどうしよう

というか話合いの結果2人が別れなかったら？
孝介が納得出来ずに僕に嫉妬してきたら？

でもこれらは僕の行動ではどうにも出来ない
2人の感情によるものだからだ

確かに恋愛は人間の欲であり、タイミングが非常に重要である
だが本当に孝介が僕の親友なら僕を応援してくれるはずで
本当に琴乃が僕のことを好きなら時が経っても僕のことを好きでいてくれるはずである

これは琴乃・孝介が本当に僕のことを大切に思っているか
確かめる期間となるであろう
僕は信じて2人の決断を待つしかない

そう考えたらやっと心が晴れた

よし！

孝介に事実を伝え

琴乃と孝介に関係がはっきり終わってから琴乃と付き合う

2人のその後の気持ちがどうなるかは信じて待つ

これが僕の今回下す決断である

色々悩んだが自分の中で大切にしたのは

①欲しいものは得る（軸を大切に）

②どんな時でも論理的に考える（後悔しないために）

これからも決断をせまられた時

自分の気持ちに忠実に軸を設けよう

それに沿って論理的に結論を出していこう

後悔しない決断をするために・・・

ただ人の心情を必ず考慮すること

よし、ちょっと考えすぎたし

久々に体を動かしに行こう！

伝える

今まで考えてきたことを琴乃と孝介にそれぞれ伝えた

2人とも僕の考えには同意してくれた
そして今夜早速今後のことを話すそう

とりあえずわかってもらえて良かった
わかってもらえなければ
それは単なる空論になってしまうから

人の気持ちは一筋縄にはいかないが
伝えることが何より大事だと思う

話の結末は？

2022年、春

今年も桜が咲き始めた

「あなた、起きる時間よ」

最愛の妻琴乃の声で起きる朝

「今度孝介君の結婚式があるんだって！」

「2人で参加しようか」

「うん」

3人は相変わらずいつめんである。

何気ない会話から始まる何気ない日常

これからも変わらずに

ありますように・・・